

# 日本全国“地デジで元気！” in 御堂筋 kappo2010（10月10日）開催報告

2010年10月13日 近畿広域地上デジタル放送推進協議会 普及促進部会

大阪のメインストリート御堂筋を歩行者天国にして開催するイベント「御堂筋 kappo」。今年の地デジ元気キャンペーンは実行委員会とのコラボレーションでメインステージでのオープニングイベントを共同で実施するなど、これまで以上の盛り上がりの中で、観衆に地デジ移行やデジサポ、コールセンターの利用をアピールしました。

御堂筋 kappo はそれまで行われていた大阪の秋の名物行事「御堂筋パレード」を歩行者天国形式の参加型行事に衣替えして一昨年より再スタートした行事で今年は10月10日（日曜）に開催され、およそ40万人の来場客がありました。地デジの普及促進活動はパレード時代から行われてきました。



メインステージでのオープニングセレモニー



デジサポブース前で談笑する橋下知事と平松市長

前日からの雨も上がった正午、地デジカのデザインされたバックパネルで彩られたメインステージで橋下大阪府知事、平松大阪市長らが出席し、オープニングイベントがスタート。壇上には近畿の各放送局の地デジ推進大使「TEAM2011」のメンバーが地デジカとともに勢ぞろいしました。続いて行われた「日本全国地デジで元気！」ステージでは、地デジ元気サポーターのザ・たっちの二人を交え、TEAM2011のメンバーが教室コント仕立てで地デジの見方や特長、問い合わせ先などを楽しく紹介し、およそ1,000人の観衆を沸かせました。メインステージでは地デジ元気のステージは2回開催したほか、ステージ全体の司会もTEAM2011メンバーがユニフォーム姿でつとめるなど地デジをアピールしました。

メインステージに程近いところにはデジサポの相談ブースが設けられ、御堂筋を「かつ歩」する橋下知事や平松大阪市長も立ち寄りました。数々のテレビ番組に出てきた橋下知事、大阪の民放の夕方ニュースのキャスターだった平松市長だけあって、ブース前で出迎えたザ・たっちやTEAM2011のメンバーとも楽しく談笑、ザ・たっち「アナログからデジタルへ幽体離脱！」のネタを披露、爆笑を誘っていました。ブース前ではまた、2回にわたって地デジクイズ大会を行い、ザ・たっち、TEAM2011のメンバーが楽しく地デジの受信方法やデジサポについての説明を行いました。ブースでの相談客はビル陰の共聴施設関係のものも多くおよそ30件の相談を受け付けました。メインステージ、ブース前の合計4回の活動、相談ブースへの来場客を合わせておよそ5,500人の方々に地デジをアピールすることができました。

また、10日の本番に先駆けて、ザ・たっちの二人は前日に大阪入りし、MBSのテレビの生バラエティ番組、ABCとMBSの各ラジオのワイド番組の計3本に出演し、地デジ移行促進のPRと御堂筋 kappo への来場を呼びかけました。



ステージでは教室コントで地デジを紹介



ブース前のクイズには黒山の人だかり